

北小「学力向上プロジェクト」

本校では、学力向上にかかる具体的方途として、以下の4つの事業を「学力向上プロジェクト」として推進しています。

①「かめの子タイム」の実施

「かめの子タイム」とは、国語・算数を中心に習熟・定着のための「帯学習」のことです。

1週間のうち朝の会の時間で二日間、給食後の時間に二日間で帯学習を位置付けています。

漢字・計算の復習が主な学習内容です。



②学期始め・学期末「確認テスト」の実施

各学期始め・学期末には、全ての学年で国語・算数等の「確認テスト」を実施しています。学習の総まとめとしての基礎的・基本的な内容の定着を図ることが目的であるため、一人一人の児童の習熟の状況に応じて、繰り返し指導を基本としながら確実に見届けることを大切にしています。

③新版「家庭学習の手引き」の活用

児童の学力向上を図るためには、学校での学習だけではなく、家庭学習の定着を図ることも必要であると考え、既存の「家庭学習の手引き」の内容を見直し、新版「家庭学習の手引き」を作成しました。

配布については4月の家庭訪問の際に、学級担任が家庭学習のねらいと内容を説明しながら保護者に手渡しをしました。あわせて「自主学習の手引き」も配布し、主体的に家庭学習ができるよう各家庭に啓発しています。

北小学校 家庭学習の手引き (5・6年生)

目標時間
60分

【読法の言葉】
目標を決めて 最後まで やりきる

【保護者の声】
◆高学年期の家庭学習の目標は、「目標設定力と読解力を身に付ける」です。お子様といっしょに、「読法の言葉」を大切にしてください。

さあ、はじめよう

◆お家の人におたよりをわたします
◆テレビを消し、ゲーム・スマホなどをやめます
◆机の上を片付け、学習に集中できるようにします

【家庭指導のポイント】
◆高学年期では、自分で学習準備づくりができることが大切です。保護者の声は、見守りです。中学年期までできていたことがなくなることもあり、確かな準備のために、見守りをお願いします。

こんなことをやってみよう

はじめに

◆学校の宿題をやります

国語

- ◆大きな声で音読します
 - ・情景を思い浮かべながら、気持ちよく読んで読む
 - ・内容にあった音読の仕方を考えて読む
- ◆漢字を正しく書きます
 - ・書き順、送りながに気をつけて書く
 - ・止め・はね・はらいに気をつけて書く
 - ・漢字の使い方を考えながら書く

算数

- ◆計算の練習をします
 - ・計算ドリルで、計算の練習をしよう
 - ・自分で答え合わせをしよう
 - ・まちがえた問題は、できるまでやってみよう

日記

- ◆一日の出来事について、自分の考えや思いを書きます。

自主学習

- ◆宿題のほかに、自分で内容を考えて勉強します
 - ・今日の授業の復習をしよう
 - ・調べたいこと、もっと勉強したいことを見つけて勉強しよう
 - ・いろんな教科に挑戦してみよう

【家庭指導のポイント】
◆基本は、学校の宿題です。「何をやろう?」と迷う前に、「まず、宿題からやろう」という意識をもち、宿題をこなすことが大切です。学期のリズムが身に付き、集中して長時間学習が身に付きます。

◆家庭では、誰の目にも見えない学習ができます。声を出して学ぶことで、復習を促せることにつながり、効果も期待できます。

◆高学年期で身に付けたい学習スキルは、後から見直したときに、分かりやすく見やすいノートづくりをやることです。学習の過程に正しい文章で感想を書くことも、学習の定着に効果があります。

◆あめむせ(マルつけ)は、自分です。保護者の仕事は、間違えた問題を確実にやり直しているかどうかを見届けることです。やり直してもらうことで、確実に学力は向上します。

◆高学年期では、自主学習に積極的に取り組めるようにしたいものです。また、いろんな種類の学習について、興味をもてるように工夫を凝らして勉強させてください。保護者として積極的に相談にのることも、学習意欲を向上させることにつながります。

勉強が終わったら

- ◆がんばったことを話します
- ◆勉強で困ったことがあれば相談します
- ◆お家の人にほめてもらいます
- ◆明日の学校のじゅんびをします

【家庭指導のポイント】
◆高学年期になると学習の困難も増え、学習内容への不安を感じることも出てきます。そうしたお子様の声にも目を向けてください。必要があれば学校にも相談ください。

◆家庭学習の手引きは、北小「学力向上プロジェクト」の取組の一つです。

④読書活動の推進

本校は、毎年、学校図書館コンクールにも積極的に参加しており、図書室の環境整備をはじめ、定期的な図書室の利用などを行い、読書好きな子どもたちを育成することを目指しています。

また、週一回、朝活動の時間を使って「読書タイム」や、「読み聞かせタイム」などを位置付けています。



これら4つの活動を「学力向上プロジェクト」として、明確に学力向上を目指す活動であると一括りとするにより、指導する教職員の意識向上と保護者への積極的な啓発を行うことができると考えています。